テレビ専用リモコン　ATV-577D

取扱説明書

audio-technica®

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

一部のリモコン付き暖房器具において、家電製品のリモコン操作やノイズで、暖房器具のヒーターが点灯するなどの誤作動が報告されています。
リモコン付き暖房器具をご使用のお客様におかれましては、当社製リモコンをご使用される際、「リモコン付き暖房器具」の誤作動に充分ご注意ください。

安全上の注意

本製品は安全性には充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体についての注意

⚠ 警告

- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。

⚠ 注意

- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  故障、不具合の原因になります。
- **火気に近づけない**
  変形、故障の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
  変形、故障の原因になります。

電池についての注意

⚠ 危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **極性通りに入れる**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない**
  · 幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  · 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
  皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の＋と－を接続しない**
  ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **乾電池は充電しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **使い切った電池はすぐに取り出す**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **長期間使用しない場合は電池を取り出す**
  液漏れによる故障の原因になります。

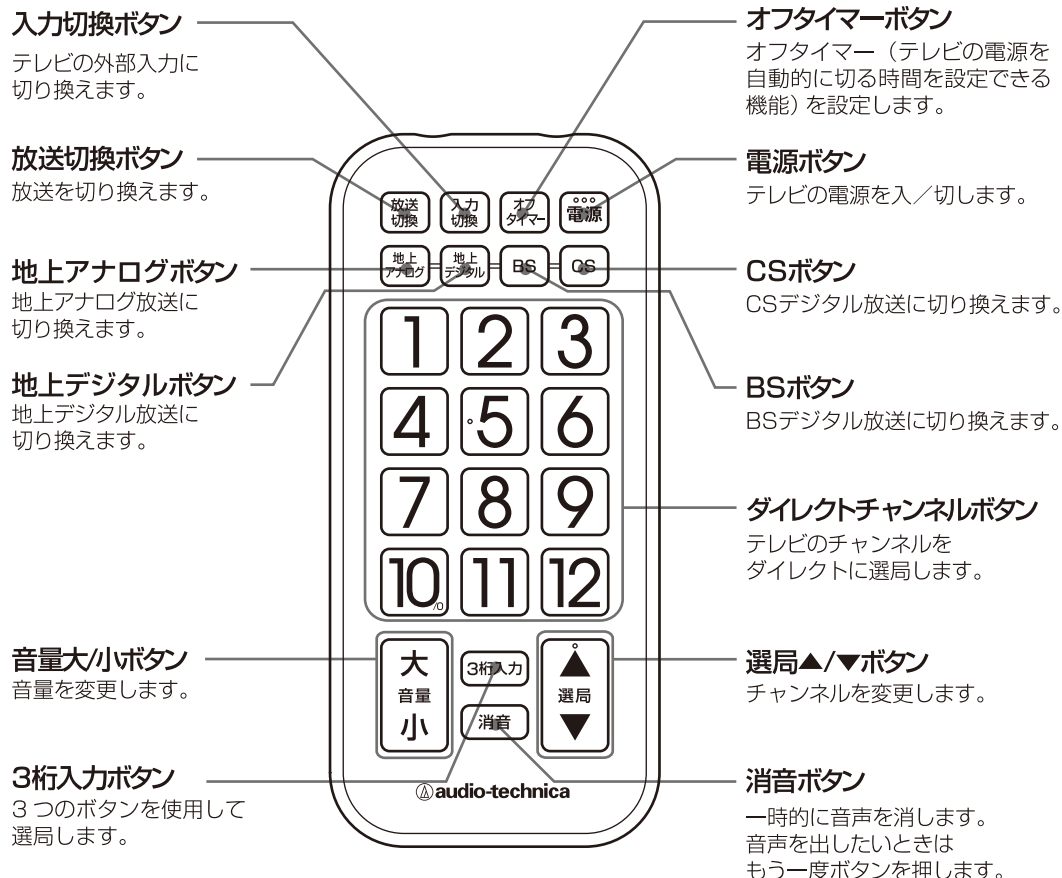
⚠ 注意

- **外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない**
  ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **変形させたりハンダ付けしない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  直射日光の当たる場所、高温多湿の場所・炎天下の車内
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- **保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱の原因になります。
- **指定の電池以外使用しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する**
  環境保全に配慮してください。

使用上の注意

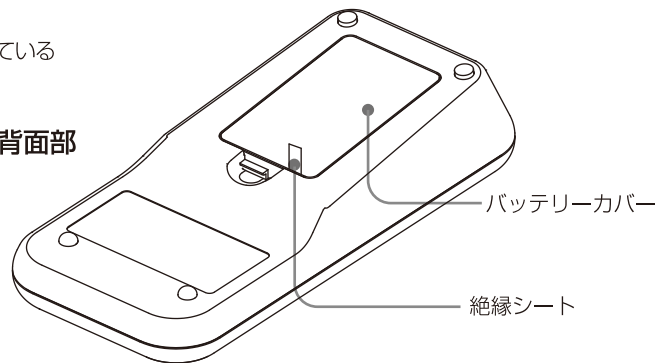
- はじめにメーカー設定が必要です。本書をご覧いただきメーカー設定をしてからご使用ください。
- 赤外線リモコン付きのテレビのみ操作することができます。
- 海外向け商品には対応しておりません。
- 2010年2月までに発売されたテレビで検証していますが、
  一部のテレビでは該当年度でも使用できない場合があります。
  また、2010年3月以降に発売されたテレビについても使用できない場合があります。

- 下記のテレビには対応しておりません。
  - ビデオ一体型テレビ
  - 車載用テレビ
  - DVD一体型テレビ
  - BD一体型テレビ
  - HDD一体型テレビ
  - HDD&DVD一体型テレビ
  - ディスプレイとレシーバーがセパレートタイプのテレビ
  - テレビチューナー一体型のパソコン

各部の名称と機能

準備

はじめにメーカー設定が必要です。
本書をご覧いただきメーカー設定をしてから使用してください。

1. 絶縁シートを抜きます

本製品はあらかじめ動作確認用として
単３形乾電池が２本入っています。
リモコン背面のバッテリーカバーから出ている
「絶縁シート」を外してください。

2. メーカー設定を行ないます

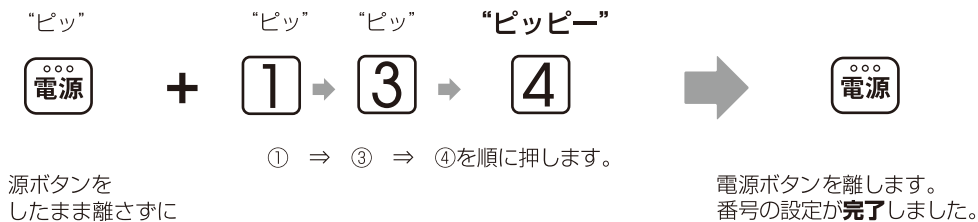
ご使用になるテレビのメーカー設定を行ないます。
お手持ちのテレビを使用できるようにするための設定です。
電源ボタンを押したまま、右記設定番号一覧表の数字（設定番号3桁）を順に押してから、電源ボタンを離します。
設定番号が複数ある場合は一覧表内の番号を左から順に選んで設定してください。

例）ビクター社のアナログテレビを設定する場合

ビクター社のアナログテレビは設定番号が４種類あります。
はじめに 134 から設定の確認を行ないます。

①　⇒　③　⇒　④を順に押します。

源ボタンを
したまま離さずに

電源ボタンを離します。
番号の設定が**完了**しました。

“ピー” または “ピッピッピー”と鳴ったら

設定が完了していません。
・ ボタンを押し間違えていませんか？
・ 設定中に電源ボタンを離しませんでしたか？
・ 20秒以上操作をしない場合は設定状態が解除されます。

→ **もう一度設定を**
やり直してください。

メーカー設定がロック状態ではありませんか？

→ **メーカー設定のロックを**
解除してください。
※「メーカー設定ロック機能の使いかた」を
参照してください。

３. 動作の確認をします

リモコンを操作して、テレビが一通り動作すれば設定完了です。
電源が入らない、一部のボタンが動作しないなど、うまく動作しない場合はもう一度メーカー設定を行なうか、
設定番号が複数ある場合には、別の設定番号でやり直してください。

正しく設定されたら、バッテリーカバーの内側に貼られている設定番号記入表に
設定番号をメモしておくと便利です。

機器	設定番号
テレビ	134

● メーカーによって機能の名称が異なることがあります。
● 設定番号によっては一部の機能が操作できない場合があります。
● テレビによっては一部の機能が操作できない場合があります。

設定番号一覧表

テレビ ＼ メーカー	地上/BS/110度CS デジタルチューナー 内蔵テレビ	地上 デジタル / アナログ テレビ	アナログテレビ /BS アナログチューナー 内蔵テレビ	地上アナログ、BS/110度CS デジタルチューナー 内蔵テレビ
パナソニック（松下）	311,312,313	314	111,112,113	211,212,213
日立	316,318,319,321 322	315,317	114,115,116	214,215,216,217 218
東芝	324,325,326,327 328,329	323	117,118,119,121 122,123,124,125	219,221,222
シャープ	331,332,333,334 335		126,127,128,129 131,132,133	223,224,225
ビクター (JVC)	336,337,338		134,135,136,137	226,227
ソニー	339,341,342,343		138,139,141,142 143,144,145,146 147,148,149,151 152,153,154,156 157,158	228,229,231,232 233,234,
パイオニア	344,345,346,347		159	235,236
三菱	348,349,351,352		161,162,163,164	237
サンヨー	353		165	
フナイ	354		166	
アイワ			167,168	
ナナオ	355		169	
ユニデン	356,357		171	
エプソン	358		172	

設定番号によっては特別な操作が必要です

設定番号：212、215、216、217、219、221、222、223、225、235

放送を切り換える、チャンネルをダイレクトに選局するときは、選局したい放送の地上アナログボタン、BS ボタン、CS ボタンを一度押してから、ダイレクトチャンネルボタンを押します。

設定番号：218

BS デジタル、CS デジタル放送に切り換えるときは放送切換ボタンを繰り返し押して切り換えます。
地上アナログ放送に切り換えるときは、地上アナログボタンを一度押し、ダイレクトチャンネルボタンを押します。

設定番号：224

放送を切り換えるときは放送切換ボタンを繰り返し押して切り換えます。
チャンネルをダイレクトに選局するときは、地上アナログボタン、BS ボタン、CS ボタンを一度押してから、ダイレクトチャンネルボタンを押します。

設定番号：228、232、236

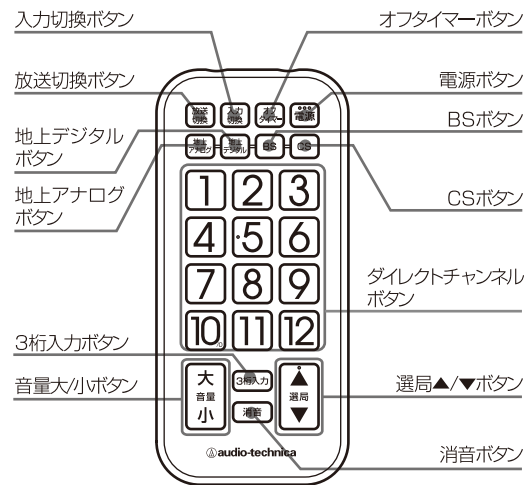
BS デジタル、CS デジタル放送に切り換えるときは BS ボタン、CS ボタンを押します。
地上アナログ放送に切り換えたいときは、地上アナログボタンを一度押してから、ダイレクトチャンネルボタンを押します。
チャンネルをダイレクトに選局するときは、地上アナログボタン、BS ボタン、CS ボタンを一度押してから、ダイレクトチャンネルボタンを押します。

設定番号：357

地上アナログ、地上デジタル放送に切り換えるときは地上デジタルボタンを繰り返し押します。
BS デジタル、CS デジタル放送に切り換えるときは BS ボタンを繰り返し押します。

操作のしかた

地上アナログ、地上 /BS/110 度 CS デジタル放送の操作を行ないます。

地上アナログ、地上デジタル/BS/110度CSデジタル放送への切り換えはテレビによって操作が異なります。
基本的には、ご使用のテレビ付属のリモコンと同じ操作です(一部のメーカー、テレビを除く)。

電源を入れたい	**電源**ボタンを押します。
放送を切り換えたい	**地上アナログ**、**地上デジタル**、**BS**、**CS**ボタンの いずれかを押して直接放送を切り換えます。 **または** **放送切換**ボタンを押して放送を切り換えます。 ※アナログテレビの設定がされている場合は放送が切り換わりません。 アナログテレビではBSアナログのダイレクト選局を行なう際に使用します。 但し、一部の地上アナログ・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビでは 放送を切り換えます。 ※一部の設定番号では特別な操作が必要となります。
チャンネルを選びたい	**ダイレクトチャンネル**ボタンを押して チャンネルを選択します **または** **3桁入力**ボタンを押して　チャンネル番号入力モードにします。 ダイレクトチャンネルボタンでチャンネルを選びます。 ※チャンネル番号で「0」を入力する場合は⑩を使用します。 ※一部のテレビでは、⑪がチャンネル番号の「0」になるものがあります。 **または** **選局▲/▼**ボタンを押してチャンネルを選択します。
音量を調節したい	**音量大/小**ボタンを押して音量を調節します。
入力を切り換えたい	**入力切換**ボタンを押します。 ※テレビが備えている外部入力の数だけ、入力が順次切り換わります。 ※設定番号によっては外部入力の数が異なります。

操作のしかた

音声を一時的に消したい

消音ボタンを押します。音声を出したい時はもう一度ボタンを押します。

オフタイマーセットしたい

オフタイマーボタンを押して、定められた時間を設定します。

※メニュー操作など、カーソルを使用するオフタイマー設定には対応しておりません。
※テレビのオフタイマーのみ対応しています。
※タイマーの時刻を指定する操作はできません。
※オンタイマーには対応していません。

３桁入力をしたい

3桁入力を押してダイレクトチャンネルボタンで3桁の チャンネルを選択します。

※地上/BS/110度CSデジタルチューナー内蔵テレビの設定を
　行なった時に使用します。
※アナログテレビを設定した場合は、ワイド画面の切り換えをします。

ＢＳアナログチャンネルを選択したい

放送切換ボタンを押して、BSアナログモードにし、⑤⑦⑨⑪のいずれかのボタンを押します。

※⑤⑦⑨⑪のいずれかを選択するまで　別のボタンの操作を受けつけません。
※BSアナログモード時に一度ダイレクトチャンネルボタン
　⑤⑦⑨⑪を押すと、次からは地上アナログの信号に戻ります。
※BSアナログ放送の操作を続ける場合は、そのたび放送切換ボタンを
　押してください。
※放送切換ボタンを押した後、どのボタンも押されなかった場合は
　60秒後に元の状態に戻ります。

または

選局▲/▼ボタンを押し続けると放送が切り換わります。

※BSアナログチャンネルへの切り換えは、テレビによって操作方法が異なります。

省エネモード切換機能の使いかた

省エネモードにすると電池寿命を約2倍に延ばすことができます。

省エネモードへ切り換えたいとき

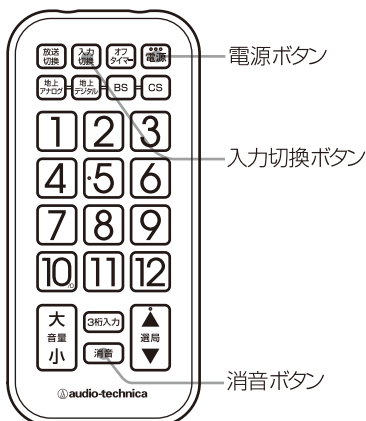
電源ボタン、**入力切換**ボタンの順に
押したまま**音量小**ボタンを押します。
“ピッピーピッピ ”と音が鳴り、
省エネモードの設定が完了します。

通常モードへ切り換えたいとき

電源ボタン、**入力切換**ボタンの順に
押したまま**音量大**ボタンを押します。
“ピッピッピッピッ”と音が鳴り、
通常モードの設定が完了します。

※省エネモードの場合、電池持続時間は長くなりますが、送信距離が短くなります。
※動作が不安定な場合は通常モードでご使用ください。
※工場出荷時は通常モードの設定になっています。

キータッチ音設定機能の使いかた

ボタンを押すと“ピッ”と鳴るキータッチ音を消すことができます。

キータッチ音を消したいとき

電源ボタン、**入力切換**ボタンの順に押したまま
消音ボタンを押します。
※工場出荷時はキータッチ音が鳴る設定になっ

キータッチ音を鳴らしたいとき

電源ボタン、**入力切換**ボタンの順に押したまま
消音ボタンを押します。
“ピッピー”と音が鳴り、キータッチ音が鳴るようになります。

メーカー設定ロック機能の使いかた

設定番号が誤って変更されるのを防ぐためにメーカー設定をロックすることができます。

メーカー設定をロックしたいとき

電源ボタン、**入力切換**ボタンの順に押したまま
選局▲ボタンを押します。
“ピッピー”と音が鳴り、メーカー設定がロックされます。

メーカー設定のロックを解除したいとき

電源ボタン、**入力切換**ボタンの順に押したまま
選局▼ボタンを押します。
“ピッピーピッピー”と音が鳴り、
メーカー設定ロックが解除されます。

※工場出荷時はメーカー設定のロックが解除されています。

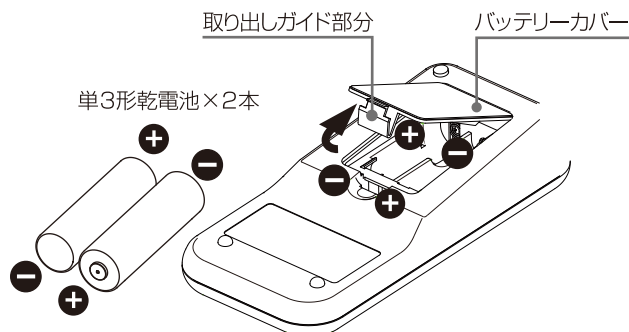
電池交換について

テレビに近づかないと動作しない場合は、
新しい電池に交換してください。

図の取り出しガイド部分を押して
ッテリーカバーを外します。

用済みの電池を取り出します。

しい単3形乾電池×2本を本体の
性表示に合わせて入れます。

ッテリーカバーを“カチッ”と
がするまで戻せば交換完了です。

推奨電池	：単3形アルカリ乾電池をおすすめします。マンガン乾電池は電池持続時間が短い場合があります。 また、充電池は正しく動作しない恐れがあります。
電池交換の目安	：送信距離が短くなってきた時は新しい電池に交換してください。 付属の電池は動作確認用のため、電池持続時間が短い場合があります。
設定保持	：メーカー設定、メーカー設定ロック、キータッチ音設定、省エネモード設定は メモリーに記憶されています。再設定する必要はありません。

ボタン押しっぱなしガード機能について

本製品は、ボタンが誤って押し続けられることによる電池の消耗を防止するため、一定時間（約 60 秒）ボタンが押し続けられると信号送信を自動的に止める機能があります。

※設定は不要です。

故障かな？と思ったら

このリモコンで正しく操作や設定ができないときは、下記をご確認ください。

	Q 質問	A 回答
設定	本製品が動作しません。	●本製品裏側の絶縁シートを抜きましたか? →「準備／1.絶縁シートを抜きます」をお読みください。 ●本製品は、はじめにメーカー設定が必要です。 →「準備／2.メーカー設定を行ないます」を見て、メーカー設定をしてからご使用ください。
設定	メーカー設定ができません。	●メーカー設定にロックがかかっていませんか? →メ ーカー設定がロックされていないかご確認ください。 →「メーカー設定ロック機能の使いかた」を参照してください （ロックがかかったままメーカー設定しようとすると、“ピッピッピッ” という警告音が鳴り、メーカー設定ができません）
設定	メーカー設定をしましたがテレビが動作しません。	●一部の機器ではご使用できない場合があります。 →操作する機器の主電源が入っているかご確認ください。 →操作する機器が赤外線リモコン対応かご確認ください。 →設定番号を変えてもう一度設定してください。 →「準備／2.メーカー設定を行ないます」を参照してください。 ●太陽光など強く光の差し込む場所で使用していませんか？ →強く光の差し込む場所では正常に動作しない場合があります。
機能	キータッチ音が鳴りません。	●キータッチ音が鳴らない設定になっていないかご確認ください。 →「キータッチ音設定機能の使いかた」を参照してください。
機能	機器に近づかないと操作できません。	●テレビとリモコンの間に障害物がないかご確認ください。 ●テレビの受光部が汚れていないかご確認ください。 ●省エネモードになっていないかご確認ください。 →「省エネモード切換機能の使いかた」を参照してください。 ●電池が消耗していないかご確認ください。
機能	ボタンを押し続けていると途中で操作ができなくなる。	●本製品は誤ってボタンが押され続けた状態を回避するため、同じボタンを 60 秒以上押し続けた場合は信号送信が強制的に止まります。

テクニカルデータ

送信方式：パルス変調搬送波赤外線発光方式
送信距離：約7m（通常時）、約4m（省エネモード時）
電源：DC3V
使用電池：単3形乾電池×2本
電池持続時間：約1年（通常時）、約2年（省エネモード時）（使用条件により異なります。）
外形寸法：W80×H173×D32mm
質量：約125g（電池を除く）
付属品：単3形乾電池×2本（動作確認用）
（改良などのため予告なく変更することがあります。）

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00～17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社相談窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●**相談窓口（製品の仕様・使いかた）** 0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●**サービスセンター（修理・部品）** 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●**ホームページ　（サポート）**
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市成瀬 2206
http://www.audio-technica.co.jp

162306940C